

2019年（令和元年） 投資信託に関するアンケート調査 調査結果サマリー

Point

- 投資信託現在保有者のうち、若年層ほどつみたてNISAでの保有率が高い(P7)
- 投資信託現在保有者のうち、積立投資の利用状況は42.4%。若年層ほど利用率が高い。(P19)
- 投資信託の興味・関心・購入のきっかけは、「少額投資非課税制度が始まったので」「SNSからの情報を通じて」は20・30代で高い傾向。(P29)



こちらのサマリーと報告書の全文は
投資信託協会ホームページにて公開しております。

<https://www.toushin.or.jp/statistics/report/research2019/>



■ 調査計画の概要	-----	2
1. 本調査の回答者プロフィール	-----	3
2. 投資信託の保有状況	-----	5
3. 投資信託の購入・保有に関する意識	-----	10
4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況	-----	18
5. 毎月分配型投資信託についての意識	-----	21
6. 投資信託の非購入理由	-----	27
7. 投資信託購入検討のきっかけ	-----	28
8. 投資信託の興味・関心・購入のきっかけ	-----	29
9. 投資信託購入時参考情報	-----	30

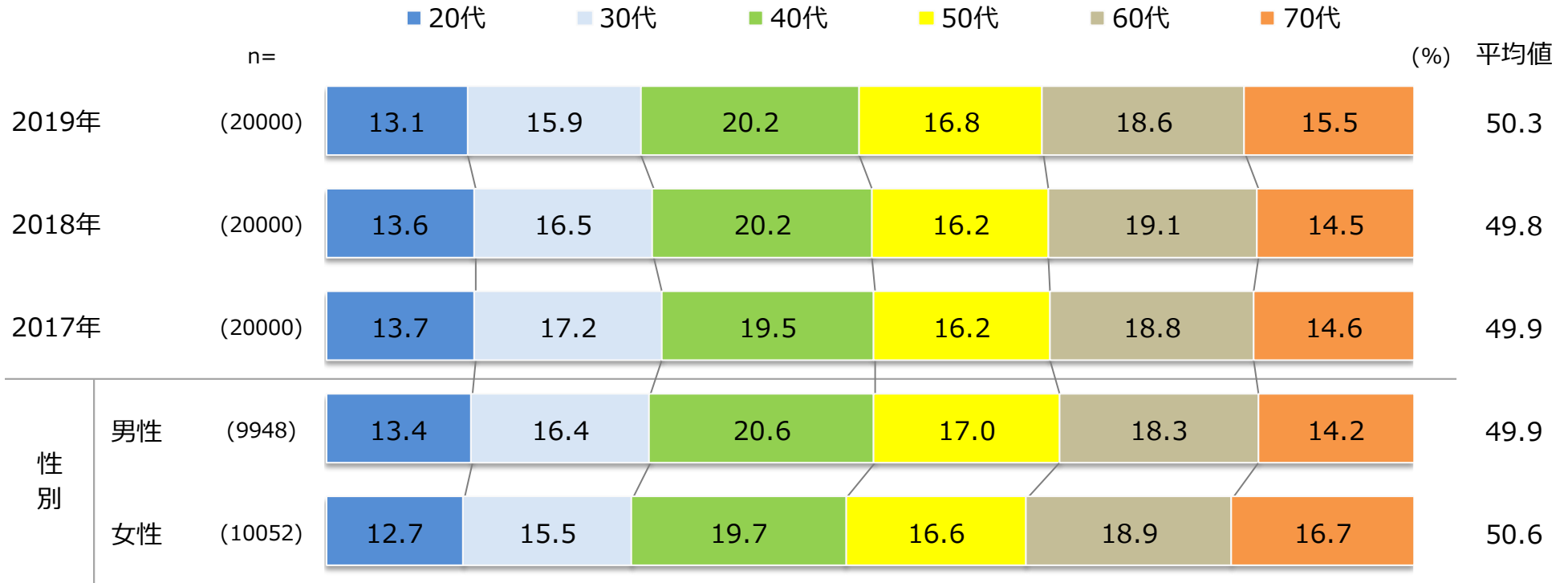
■調査計画の概要

調査の目的	全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、投資信託の保有状況や特徴認知、満足度、積立投資の認知などを把握すると同時に、投資信託保有未経験層に対しては、非購入理由や購入検討のきっかけを確認することで、「貯蓄から資産形成へ」の流れを促進するための課題を探り、今後の投資信託の利用拡大及び啓発普及活動に役立つ資料とすること。																																																																																				
調査手法	インターネット調査（抽出フレーム：NRCネットワークパネル） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。また、今回パネルが変更となったため、前回までとデータ傾向の異なる箇所があります。																																																																																				
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）																																																																																				
調査対象	20～79歳の男女																																																																																				
サンプル数	<p>総計20,000サンプル</p> <ul style="list-style-type: none"> * 性・年代・エリアで割付実施（割付は平成30年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）。 * 職業条件による除外は実施していない。 <p>＜性・年代・エリアごとの回収数詳細＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> <th>60-69歳</th> <th>70-79歳</th> <th>20-79歳計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">男性</td> <td>首都圏</td> <td>415</td> <td>515</td> <td>651</td> <td>508</td> <td>467</td> <td>388</td> <td>2,944</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>192</td> <td>222</td> <td>297</td> <td>236</td> <td>245</td> <td>210</td> <td>1,402</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>729</td> <td>892</td> <td>1,106</td> <td>947</td> <td>1,109</td> <td>819</td> <td>5,602</td> </tr> <tr> <td>男性計</td> <td>1,336</td> <td>1,629</td> <td>2,054</td> <td>1,691</td> <td>1,821</td> <td>1,417</td> <td>9,948</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女性</td> <td>首都圏</td> <td>397</td> <td>482</td> <td>605</td> <td>469</td> <td>475</td> <td>449</td> <td>2,877</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>192</td> <td>225</td> <td>302</td> <td>243</td> <td>266</td> <td>252</td> <td>1,480</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>685</td> <td>851</td> <td>1,069</td> <td>958</td> <td>1,159</td> <td>973</td> <td>5,695</td> </tr> <tr> <td>女性計</td> <td>1,274</td> <td>1,558</td> <td>1,976</td> <td>1,670</td> <td>1,900</td> <td>1,674</td> <td>10,052</td> </tr> <tr> <td>TOTAL</td> <td></td> <td>2,610</td> <td>3,187</td> <td>4,030</td> <td>3,361</td> <td>3,721</td> <td>3,091</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。 【首都圏】 東京、神奈川、埼玉、千葉／計5,821サンプル 【阪神圏】 大阪、京都、兵庫、奈良／計2,882サンプル 【その他地域】 上記以外の都道府県／計11,297サンプル</p>			20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計	男性	首都圏	415	515	651	508	467	388	2,944	阪神圏	192	222	297	236	245	210	1,402	その他地域	729	892	1,106	947	1,109	819	5,602	男性計	1,336	1,629	2,054	1,691	1,821	1,417	9,948	女性	首都圏	397	482	605	469	475	449	2,877	阪神圏	192	225	302	243	266	252	1,480	その他地域	685	851	1,069	958	1,159	973	5,695	女性計	1,274	1,558	1,976	1,670	1,900	1,674	10,052	TOTAL		2,610	3,187	4,030	3,361	3,721	3,091	20,000
		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計																																																																													
男性	首都圏	415	515	651	508	467	388	2,944																																																																													
	阪神圏	192	222	297	236	245	210	1,402																																																																													
	その他地域	729	892	1,106	947	1,109	819	5,602																																																																													
	男性計	1,336	1,629	2,054	1,691	1,821	1,417	9,948																																																																													
女性	首都圏	397	482	605	469	475	449	2,877																																																																													
	阪神圏	192	225	302	243	266	252	1,480																																																																													
	その他地域	685	851	1,069	958	1,159	973	5,695																																																																													
	女性計	1,274	1,558	1,976	1,670	1,900	1,674	10,052																																																																													
TOTAL		2,610	3,187	4,030	3,361	3,721	3,091	20,000																																																																													
調査時期	2019年11月13日（水）～11月18日（月）																																																																																				
調査主体	一般社団法人 投資信託協会																																																																																				
調査実施機関	株式会社日本リサーチセンター																																																																																				

1. 本調査の回答者プロフィール

回答者の性別・年代

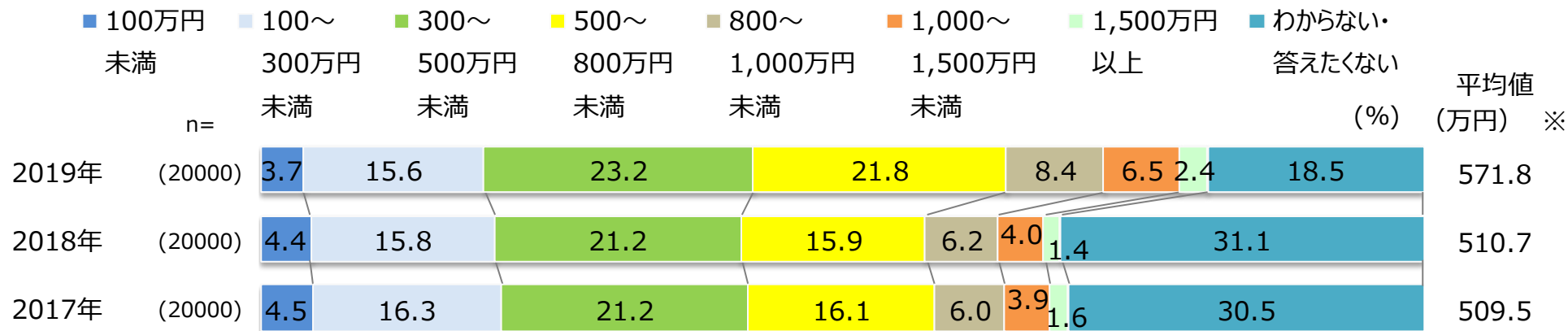
(Q30・31)



1. 本調査の回答者プロフィール

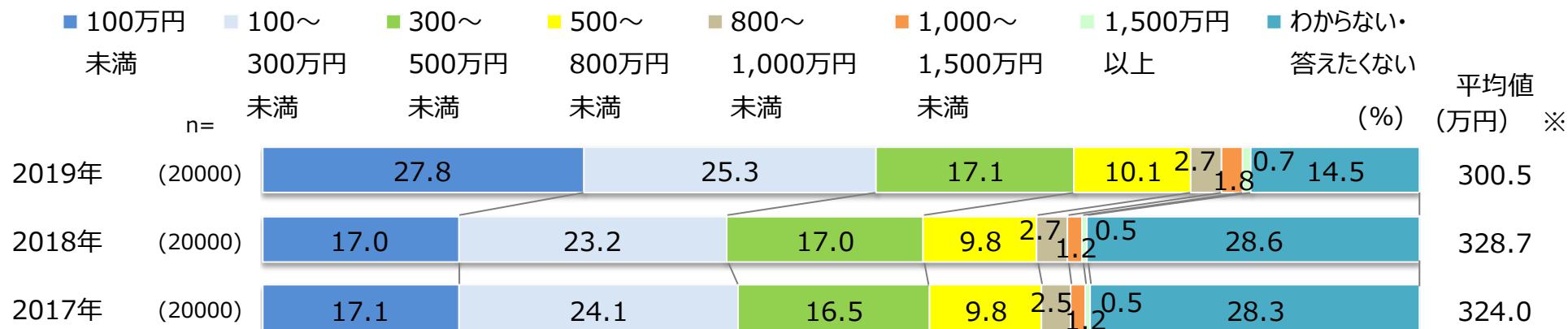
回答者の世帯年収

(Q33①)



回答者の個人年収

(Q33②)



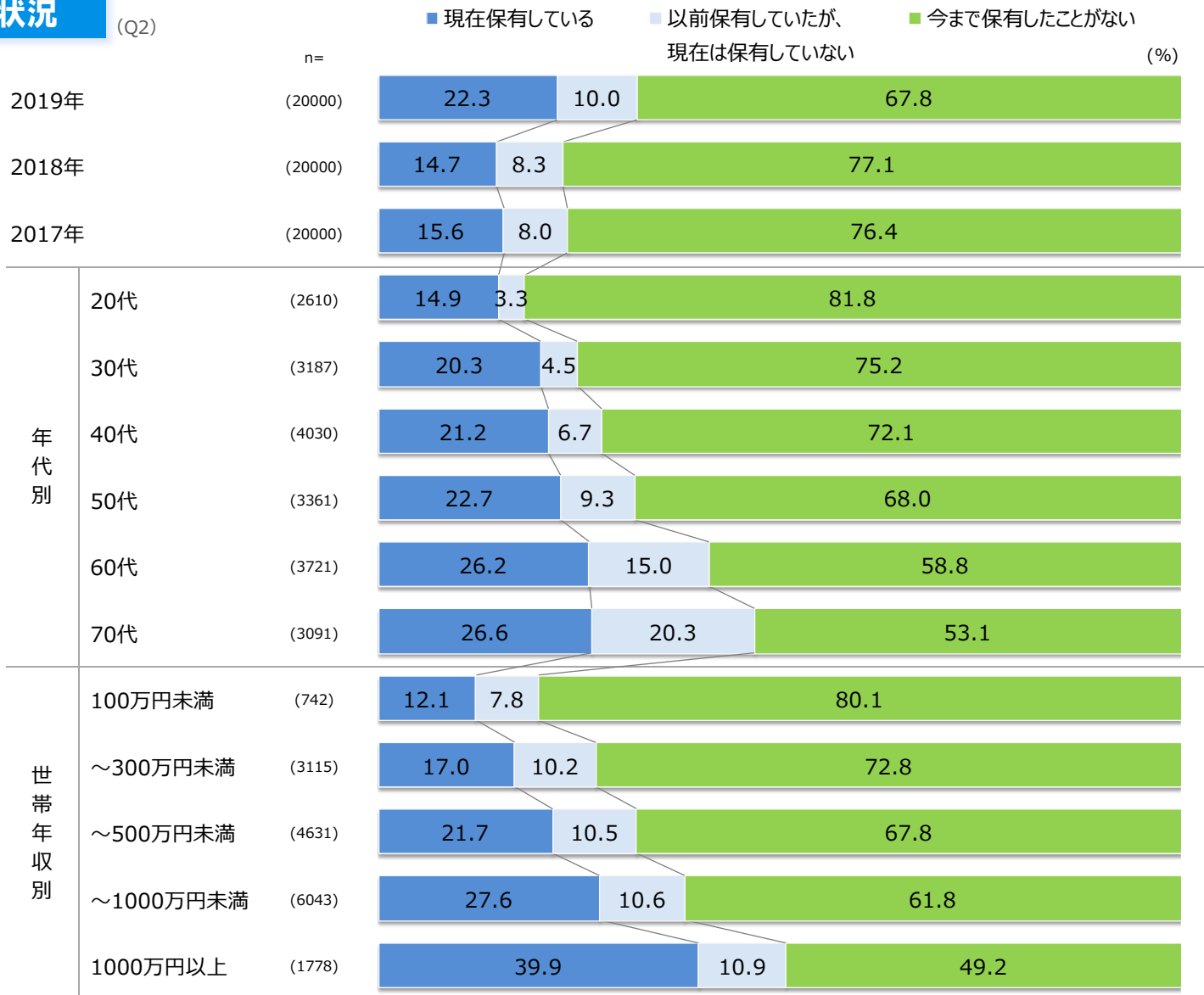
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円 / 800万円~1000万円未満：900万円 / 1000~1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

2. 投資信託の保有状況（1）

投資信託の保有状況

(Q2)



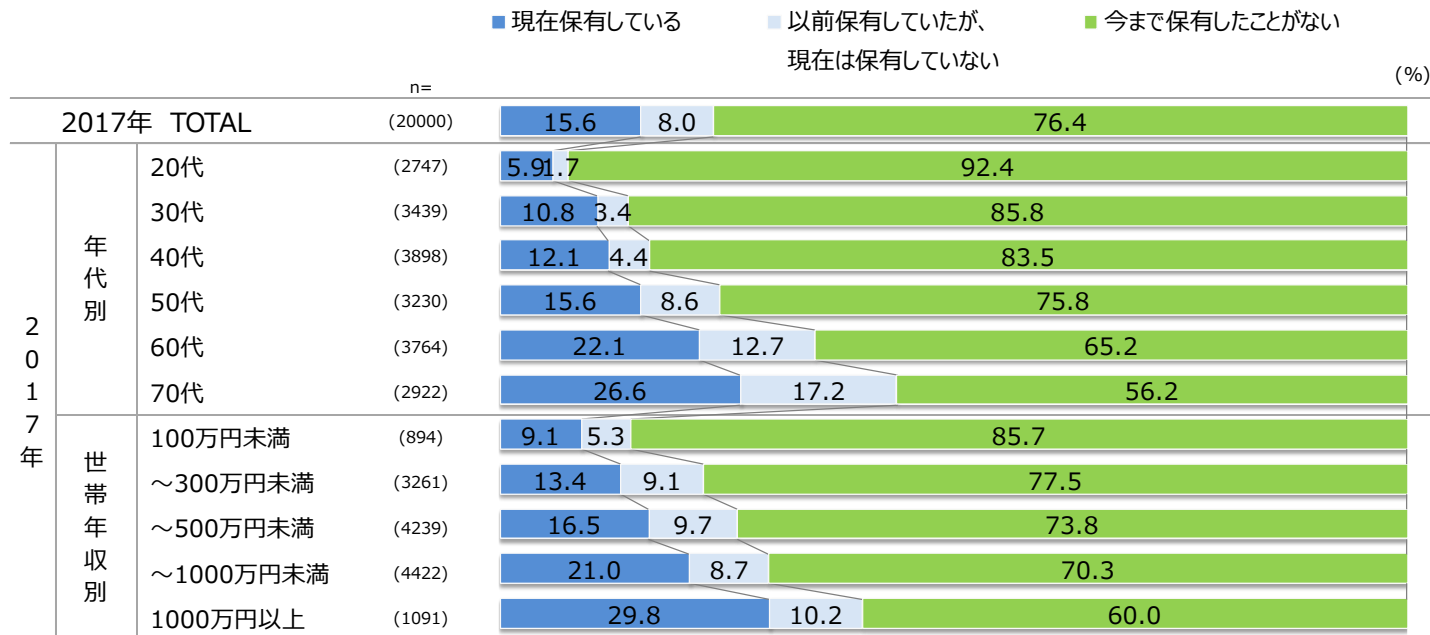
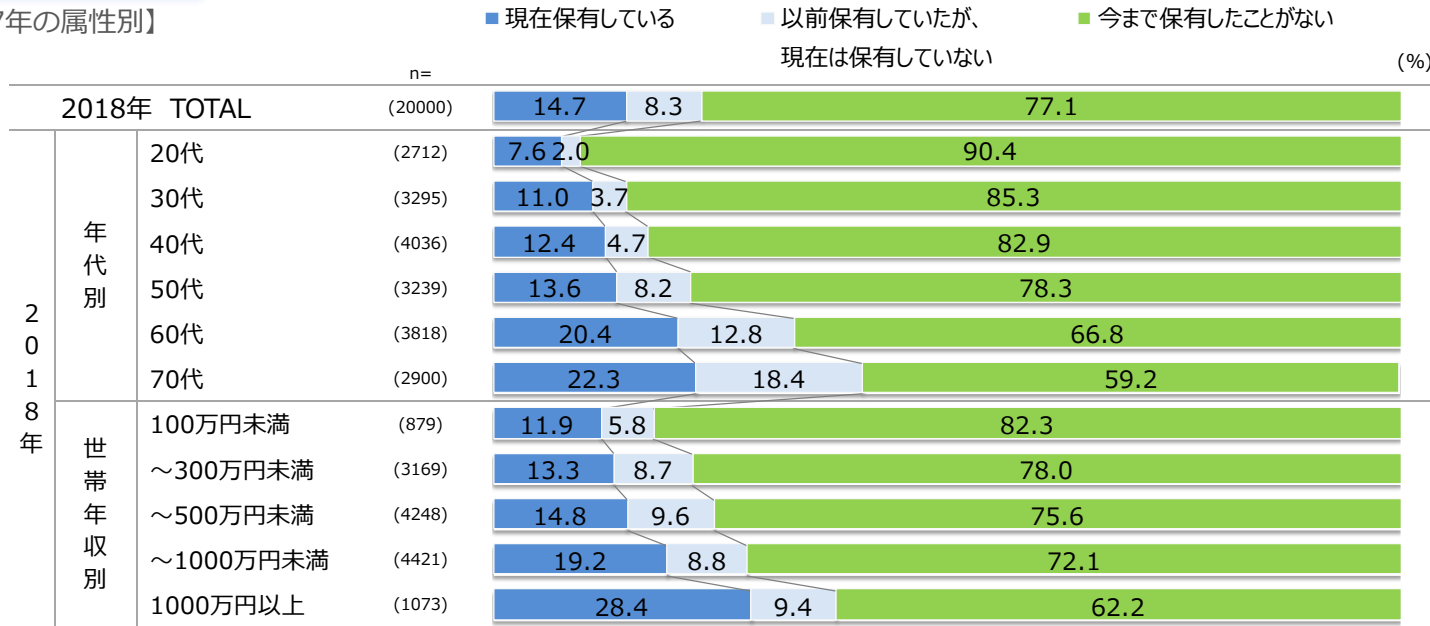
- 投資信託の保有状況は、“現在保有層”が22.3%と前回(14.7%)より7.6ポイント増加した。
- 年代が上がるにつれ、投資信託の“現在保有層”、“保有経験層”ともに増加する。また、世帯年収が高いほど、“現在保有層”が増加する。

2. 投資信託の保有状況（2）

投資信託の保有状況

(Q2)

【2018年、2017年の属性別】



2. 投資信託の保有状況（3）

投資信託の保有口座

(Q3)

(投資信託現在保有者ベース)

		n=	特定口座もしくは 一般口座など 通常の課税口座	NISA	つみたてNISA	iDeCo (個人型 確定拠出年金)	企業型DC (企業型 確定拠出年金)	その他	わからない・忘れた	(%)
2019年		(4452)	69.7	43.2	17.4	11.8	7.1	0.7	2.4	
性別	男性	(2661)	72.2	42.1	17.6	14.1	10.0	0.6	2.4	
	女性	(1791)	66.0	44.8	17.1	8.4	2.8	0.9	2.4	
年代別	20代	(390)	51.3	33.6	39.2	18.2	14.1	0.5	4.6	
	30代	(646)	59.1	36.1	32.7	20.6	9.3	0.6	2.3	
	40代	(855)	66.9	40.0	20.2	20.5	9.8	0.6	2.1	
	50代	(763)	72.1	41.5	14.8	15.6	11.9	1.0	2.9	
	60代	(976)	74.9	49.7	7.0	2.0	2.4	1.0	1.9	
	70代	(822)	81.3	50.6	6.8	0.7	0.6	0.4	1.9	
世帯 年収別	100万円未満	(90)	70.0	42.2	10.0	11.1	3.3	0.0	6.7	
	～300万円未満	(529)	67.5	45.6	15.7	4.9	2.3	0.8	3.4	
	～500万円未満	(1006)	68.3	42.5	19.0	9.4	3.3	0.8	2.6	
	～1000万円未満	(1667)	69.3	43.1	17.3	12.7	8.4	0.7	1.2	
	1000万円以上	(710)	75.6	45.2	19.2	20.3	16.5	1.0	1.8	

- 投資信託の保有口座は、「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」(69.7%)が最も高く、「NISA」(43.2%)が続く。「つみたてNISA」(17.4%)、「iDeCo（個人型確定拠出年金）」(11.8%)は10%台。

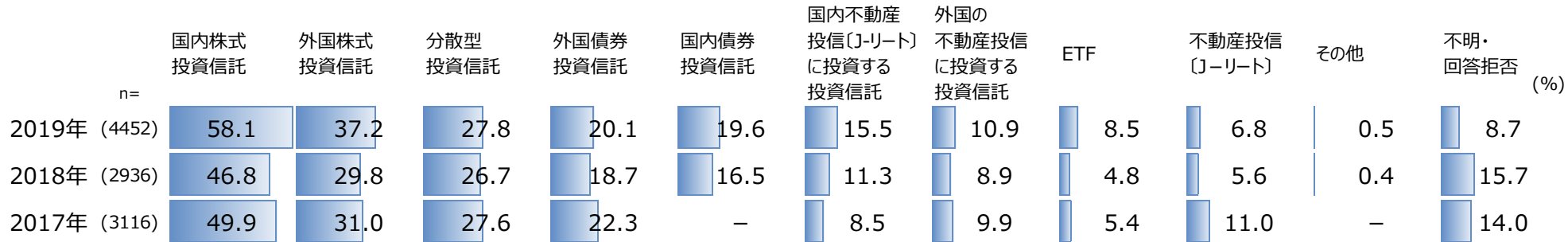
- 「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」「NISA」は年代が上がるほど保有率が増加、「つみたてNISA」は若年層ほど保有率が高い。

2. 投資信託の保有状況（4）

保有している投資信託の種類（重複回答）

(Q6)

(投資信託現在保有者ベース)

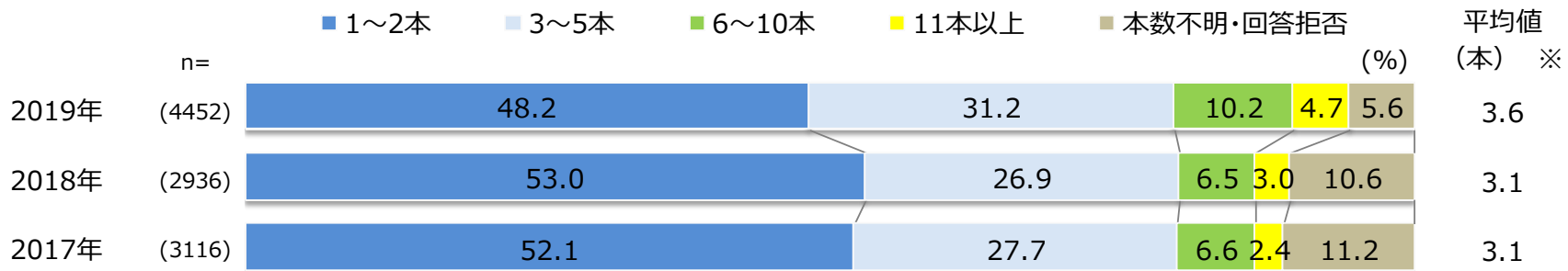


※選択肢「国内債券投資信託」「その他」は2018年より聴取

現在保有している投資信託の本数

(Q4)

(投資信託現在保有者ベース)



※ 平均値は「本数不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は次の通り 1~2本：1.5本 / 3~5本：4本 / 6~10本：8本 / 11本以上：13本

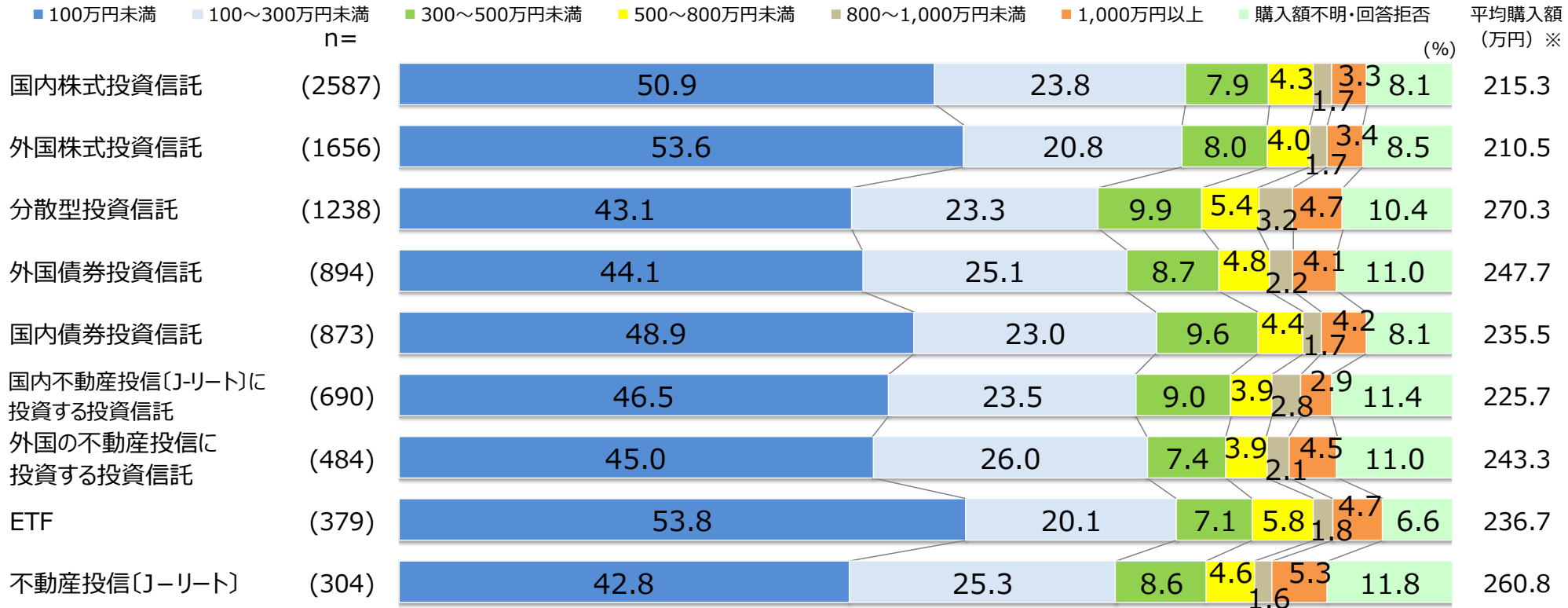
- 現在保有している投資信託の種類は、「国内株式投資信託」が58.1%で最多。これに、「外国株式投資信託」「分散型投資信託」「外国債券投資信託」「国内債券投資信託」が続く。
- 現在保有している投資信託の保有本数は、「1~2本」(48.2%)が約半数を占め、平均本数は3.6本。前回に比べてやや多い。

2. 投資信託の保有状況（5）

保有している投資信託の種類別購入額

(Q7)

(各投資信託現在保有者ベース)



※ 平均値は「購入額不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円 / 800～1000万円未満：900万円 / 1000万円以上：1500万円

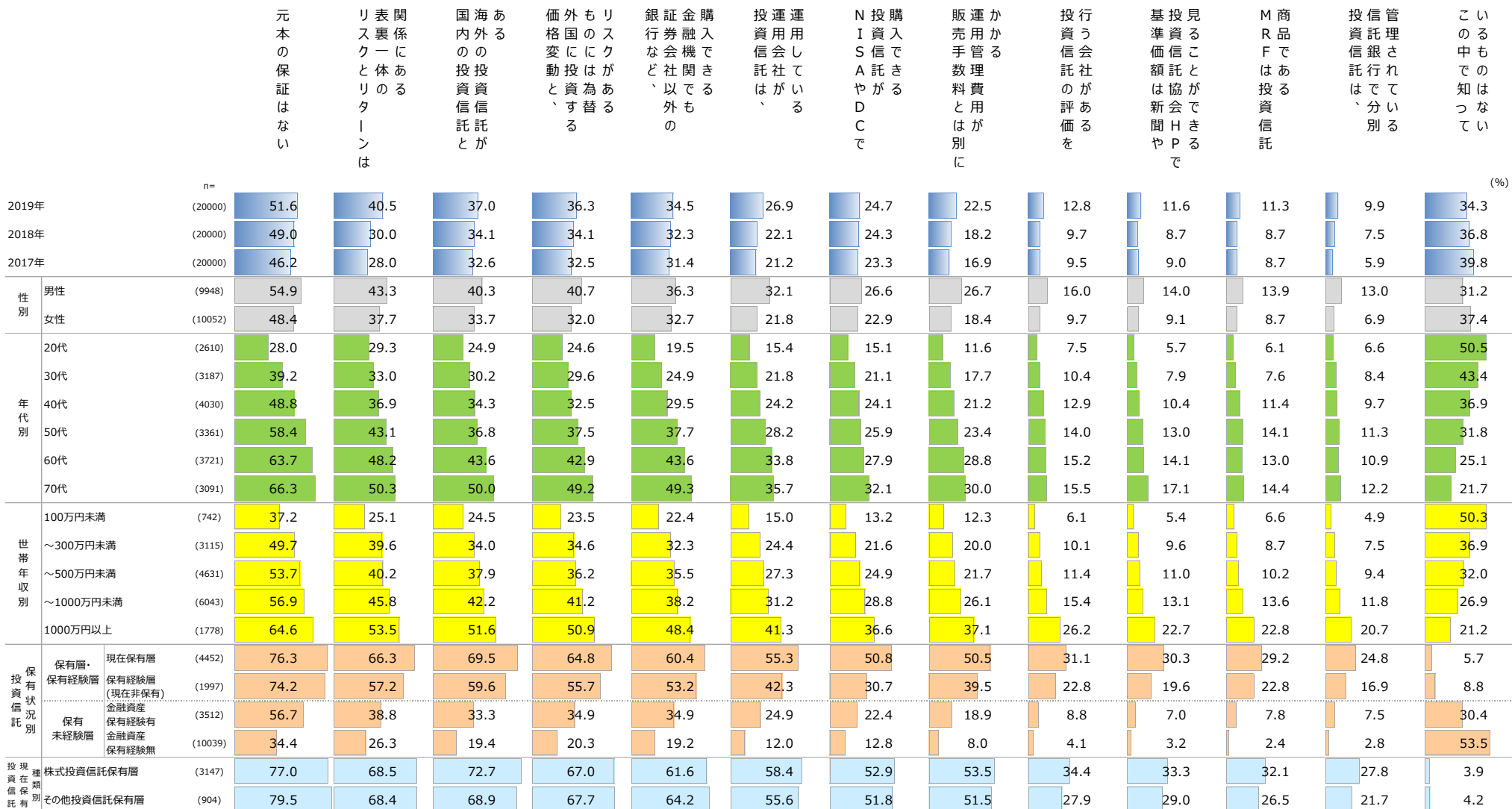
- 種類別の平均購入額は「分散型投資信託」が270.3万円で最も高い。
次いで「不動産投資信託(J-リート)」が260.8万円、さらに「外国債券投資信託」「外国不動産投資信託」が240万円台で上位。

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（1）



投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q12)



- 投資信託の特徴認知は、「元本保証がない」(51.6%)が最も高い。これに続く「リスクとリターンは表裏一体の関係」(40.5%)は、前年に比べて10.5ポイント増加。
- 年代別、世帯年収が高くなるほど、いずれの商品特徴の認知率も高くなる。

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（2）

投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q12)

		n=	元本の保証はない	リスクリターンは	関係のある投資信託が	海外の投資信託が	ある投資信託が	価格変動する	外国投資替	もリスクがある	リスクリスク	銀行など、外	証券会社、外	金融機関でも	購入できる	運用会社がある	運用信託は、	投資信託は、	NISAで	購入できる	販売手数料が別	かかる手数料は別	行の会社がある	投資信託の価値を	基準価額は新聞や	見ることできる	MRFではある	投資信託は、	管理され、	この中でも知っていない
2019年 TOTAL		(20000)	51.6	40.5	37.0	36.3	34.5	26.9	24.7	22.5	12.8	11.6	11.3	9.9	34.3															
20代	100万円未満	(151)	19.9	18.5	16.6	17.2	10.6	7.9	7.3	5.3	4.6	2.0	4.6	2.0	62.3															
	~300万円未満	(398)	24.9	27.6	22.1	20.9	15.1	13.1	12.6	11.1	4.0	4.8	5.5	5.5	53.3															
	~500万円未満	(627)	31.7	31.7	28.7	27.1	22.2	19.6	18.0	13.9	7.8	6.4	5.6	6.7	45.0															
	~1000万円未満	(609)	36.8	38.9	32.7	33.5	27.8	19.4	19.9	15.3	11.3	8.0	7.2	9.7	37.3															
	1000万円以上	(169)	42.0	42.6	39.6	38.5	30.8	26.0	27.8	20.7	17.8	13.6	16.6	16.6	32.5															
30代	100万円未満	(107)	18.7	14.0	13.1	17.8	5.6	8.4	2.8	7.5	4.7	1.9	0.9	0.9	70.1															
	~300万円未満	(398)	33.7	29.9	24.4	26.6	19.1	16.8	14.6	10.8	7.3	5.8	3.8	4.0	51.3															
	~500万円未満	(789)	39.9	32.4	31.2	28.1	25.3	20.9	20.7	16.7	9.9	7.7	7.4	7.9	41.8															
	~1000万円未満	(1129)	47.4	39.8	37.6	36.0	30.0	27.9	26.9	22.1	12.2	9.5	10.0	11.2	31.6															
	1000万円以上	(204)	56.9	52.5	48.0	48.0	47.1	38.2	35.8	38.2	25.0	20.1	20.1	23.5	21.6															
40代	100万円未満	(122)	30.3	18.0	18.9	18.9	18.0	13.9	11.5	11.5	7.4	5.7	7.4	5.7	63.1															
	~300万円未満	(485)	44.3	34.6	30.1	29.5	24.5	21.9	17.7	18.4	9.3	7.6	8.5	6.6	42.1															
	~500万円未満	(828)	49.5	32.6	32.7	29.8	27.4	22.0	23.3	18.8	9.5	8.0	8.7	6.8	36.2															
	~1000万円未満	(1558)	52.6	42.8	38.4	36.3	32.6	27.0	27.7	23.6	14.8	11.7	12.5	10.5	30.9															
	1000万円以上	(407)	62.9	48.9	51.4	48.4	46.2	41.5	39.1	36.4	26.8	21.4	24.3	22.9	23.1															

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（3）



投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q12)

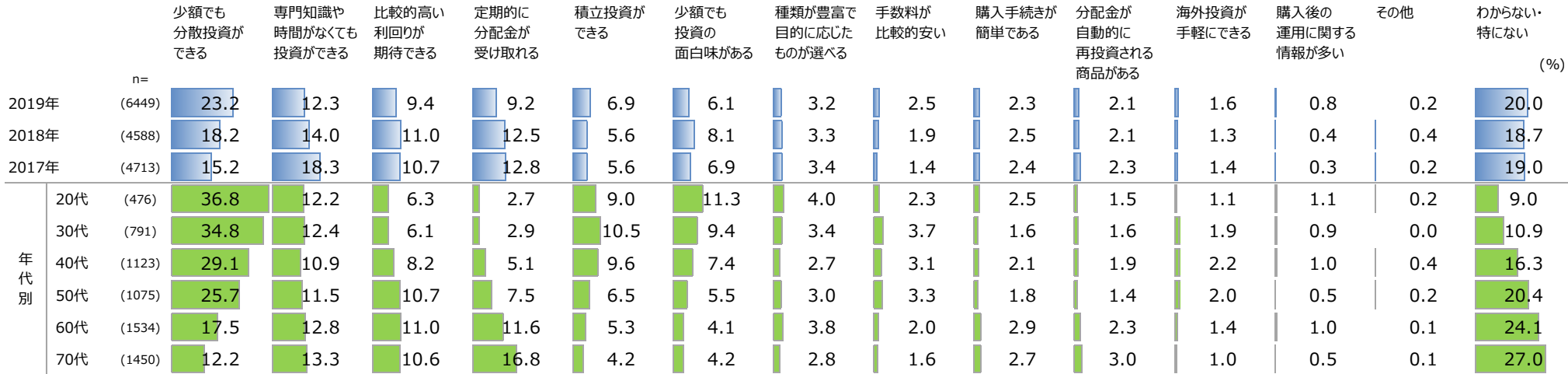
		元本の保証はない	リスクリターンは	関係にある	海外の投資信託が	ある投資信託が	価格変動する	外国投資替	もスクがある	リスクがある	銀行など、外の	証券会社、外の	金融機関でも	購入できる	運用会社がある	運用信託は	NISAやDCで	購入できる	販売手数料が別に	かかる管理費用が	行信託の価値を	基準価額は新聞や	見ることできる	MRFは投資信託	投資信託は別	この中で知っていない
2019年 TOTAL		n= (20000)	51.6	40.5	37.0	36.3	34.5	26.9	24.7	22.5	12.8	11.6	11.3	9.9	34.3											
50代	100万円未満	(137)	59.1	31.4	34.3	34.3	35.0	21.2	21.9	17.5	8.8	10.2	8.8	10.2	32.8											
	~300万円未満	(374)	52.7	39.3	29.7	32.6	33.7	24.1	18.7	19.5	11.0	9.4	11.5	8.6	38.8											
	~500万円未満	(560)	57.0	39.6	33.2	33.2	34.3	24.1	22.0	19.3	9.8	10.4	11.4	8.4	33.8											
	~1000万円未満	(1225)	61.6	45.7	39.3	40.2	39.9	29.7	29.3	24.1	14.9	13.3	15.3	12.1	26.6											
	1000万円以上	(537)	68.0	54.6	51.2	50.5	49.3	42.8	35.8	37.2	25.3	23.8	23.8	19.0	21.2											
60代	100万円未満	(140)	53.6	37.9	32.9	28.6	34.3	20.7	18.6	19.3	5.7	7.1	6.4	4.3	35.7											
	~300万円未満	(731)	59.6	48.2	40.6	40.1	40.4	30.2	25.3	25.4	12.6	10.0	9.4	8.5	27.5											
	~500万円未満	(926)	65.7	48.3	44.1	41.6	45.7	34.3	28.0	27.2	13.4	14.3	11.2	10.2	23.9											
	~1000万円未満	(952)	71.0	52.6	50.6	50.7	49.2	41.6	31.6	35.6	19.4	17.6	18.3	14.0	17.3											
	1000万円以上	(341)	71.8	60.1	54.8	56.9	54.3	46.0	37.5	43.1	29.3	26.4	23.2	20.2	16.4											
70代	100万円未満	(85)	38.8	29.4	31.8	22.4	30.6	17.6	16.5	11.8	4.7	4.7	12.9	5.9	37.6											
	~300万円未満	(729)	64.1	46.5	44.0	45.5	45.3	30.9	30.6	25.9	12.5	15.5	11.0	9.6	25.2											
	~500万円未満	(901)	70.6	52.1	51.6	51.7	51.5	37.8	33.5	30.1	15.6	16.9	15.4	14.7	17.6											
	~1000万円未満	(570)	75.1	62.1	63.5	59.8	58.9	47.4	39.6	41.2	21.6	21.8	18.9	14.9	11.8											
	1000万円以上	(120)	80.0	63.3	68.3	66.7	62.5	47.5	43.3	42.5	33.3	28.3	25.8	23.3	11.7											

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（4）

他の金融商品と比較して投資信託に特に魅力を感じる点

(Q15②)

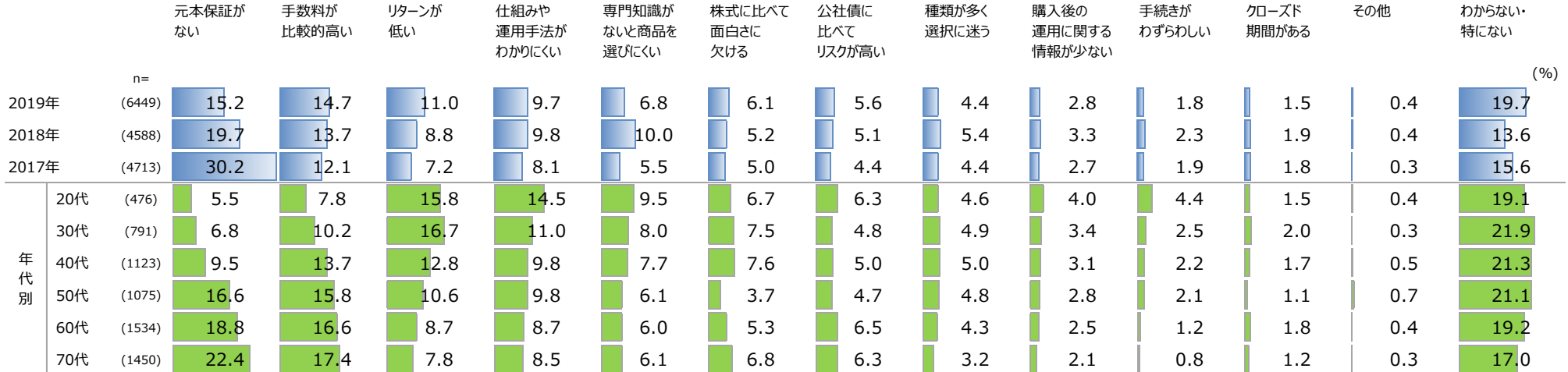
(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



他の金融商品と比較して投資信託に特に不満を感じる点

(Q16②)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)



- 他の金融商品と比べて投資信託に特に魅力を感じる点は、「少額でも分散投資できる」(23.2%)、「専門知識や時間がなくても投資できる」(12.3%)が上位。若年層ほど「少額でも分散投資できる」「積立投資できる」「少額でも面白味がある」が、高齢層ほど「比較的高い利回りが期待できる」「定期的に分配金が受け取れる」が高くなる。
- 特に不満な点では、「元本保証がない」(15.2%)、「手数料が比較的高い」(14.7%)、「リターンが低い」(11.0%)が上位。高齢層ほど「元本保証がない」「手数料が比較的高い」が、若年層ほど「リターンが低い」「仕組みや運用方法がわかりにくい」が高い。

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（5）

投資信託の購入の際に重視した点（重複回答）

(Q10①) ※選択肢「値下がりの不安が少ない」「少額から投資できる」は2018年より聴取
※選択肢「社会性が高い企業が投資先」は2019年より聴取

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

	n=	過去の運用実績	値上がりへの期待	値下がりの不安が少ない	手数料や運用管理費用の水準	少額から投資できる	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	過去の分配金額	分配頻度	純資産額の大きさ	商品コンセプト	評価会社による評価	社会性が高い企業が投資先	その他	特にな
2019年	(6449)	35.2	33.8	26.5	22.6	17.6	11.4	10.8	10.4	10.1	6.2	5.6	4.7	2.9	0.4	12.8
2018年	(4588)	29.1	32.3	24.0	13.2	21.5	7.8	9.1	10.7	10.9	4.8	7.8	5.8	-	1.9	12.1
2017年	(4713)	25.7	36.5	-	11.1	-	9.0	9.7	11.0	11.4	5.2	7.4	5.3	-	1.3	13.3
年代別	20代 (476)	41.2	30.7	24.8	29.0	16.2	9.5	12.8	4.6	3.8	6.9	6.1	2.1	2.9	0.0	10.3
	30代 (791)	37.0	29.8	25.9	31.1	19.7	8.7	8.6	6.7	9.4	7.1	4.9	3.5	2.5	0.1	10.9
	40代 (1123)	36.0	29.6	23.7	27.2	19.4	10.9	8.0	9.6	9.3	6.4	5.6	4.9	2.0	0.0	11.4
	50代 (1075)	35.7	34.0	25.2	23.3	18.2	12.8	8.6	10.2	8.7	5.1	6.5	5.4	2.1	0.4	13.0
	60代 (1534)	35.1	36.7	27.6	18.9	16.8	12.7	10.7	11.7	10.7	6.6	5.8	5.1	3.0	0.6	13.6
	70代 (1450)	31.4	37.2	29.5	15.9	15.9	11.4	15.3	13.6	13.7	5.9	4.8	5.1	4.3	0.8	14.8

投資信託の購入の際に今後重視したい点（重複回答）

(Q10②) ※選択肢「値下がりの不安が少ない」「少額から投資できる」は2018年より聴取
※選択肢「社会性が高い企業が投資先」は2019年より聴取

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

	n=	値上がりへの期待	過去の運用実績	値下がりの不安が少ない	手数料や運用管理費用の水準	少額から投資できる	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	過去の分配金額	分配頻度	商品コンセプト	純資産額の大きさ	評価会社による評価	社会性が高い企業が投資先	その他	特にな	
2019年	(6449)	26.5	24.7	23.2	19.3	11.4	8.3	8.0	6.8	6.3	5.4	5.0	3.6	3.2	0.5	17.4	
2018年	(4588)	29.5	23.8	32.5	16.8	16.4	10.2	10.7	8.8	8.3	8.0	5.8	6.1	-	1.3	15.7	
2017年	(4713)	35.8	24.2	-	14.2	-	9.7	11.3	8.7	8.5	7.3	5.6	5.7	-	0.4	16.2	
年代別	20代 (476)	26.5	31.5	24.4	25.8	11.3	7.1	8.6	4.4	4.6	5.9	6.7	2.7	2.9	0.0	11.1	
	30代 (791)	27.3	30.2	21.0	27.7	13.8	6.7	7.2	5.4	7.6	5.4	5.7	2.8	2.3	0.1	11.8	
	40代 (1123)	25.9	27.8	21.5	24.1	14.4	14.4	7.5	6.7	7.2	6.1	5.8	5.1	3.8	3.3	0.1	12.8
	50代 (1075)	26.0	26.0	22.5	19.8	12.7	12.7	8.9	6.8	7.6	5.4	6.4	4.1	3.8	2.9	0.6	16.3
	60代 (1534)	27.3	21.6	24.1	15.0	10.4	10.4	9.1	8.0	7.0	5.8	5.2	5.0	3.4	3.3	0.7	19.8
	70代 (1450)	25.9	19.6	24.9	13.1	7.9	7.9	9.0	10.0	7.3	7.3	4.3	4.6	4.3	3.7	1.1	24.6

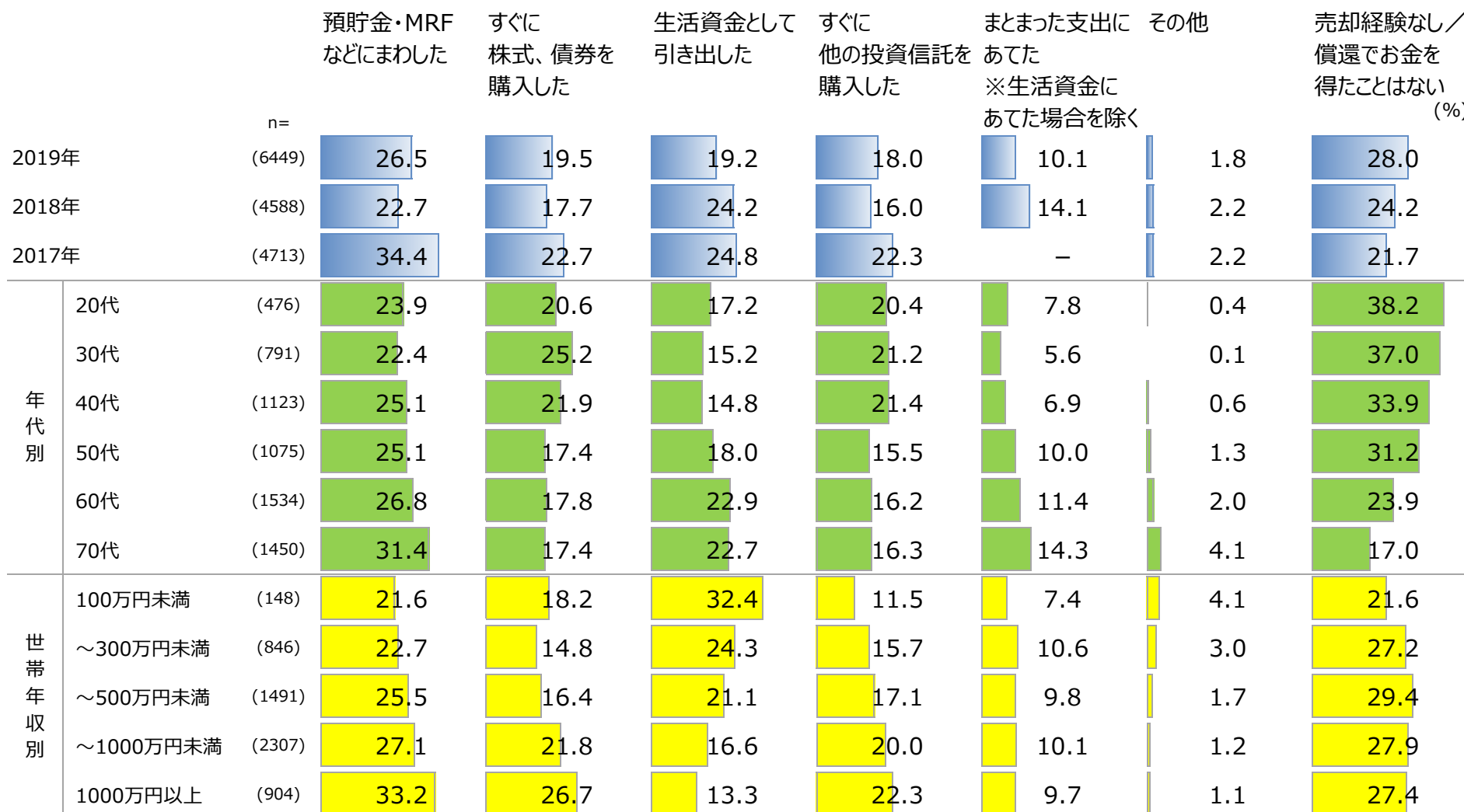
- 投資信託の購入の際に重視した点と今後重視したい点については、購入の際は「過去の運用実績」「値上がりへの期待」「値下がりの不安が少ない」が上位となる。今後重視したい点では「値上がりへの期待」「過去の運用実績」「値下がりの不安が少ない」が僅差で上位に並ぶ。
- 購入の際の重視点、今後重視したい点ともに、若年層ほど「過去の運用実績」「手数料や運用管理費用の水準」「少額から投資できる」の重視率が高くなる傾向。

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（6）

投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

（Q14）※選択肢「まとまった支出にあてた ※生活資金にあてた場合を除く」は2018年より聴取

（投資信託現在保有者・保有経験者ベース）



- 投資信託の償還・売却資金は「預貯金・MRFなどにまわした」(26.5%)が最も高いが、「売却経験なし/償還でお金を得たことはない」(28.0%)も同程度いる。
- 年代別では、高齢層ほど「生活資金」「預貯金・MRF」「まとまった支出」に回されることが多く、「すぐに株式・債券を購入」「すぐに他の投資信託購入」は40代以下でやや高い。

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（7）

投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

(Q14)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

		n=	預貯金・MRF などにまわした	すぐに 株式、債券を 購入した	生活資金として 引き出した	すぐに 他の投資信託を 購入した	まとまった支出に あてた ※生活資金に あてた場合を除く	その他	売却経験なし/ 償還でお金を 得たことはない (%)
2019年 TOTAL		(6449)	26.5	19.5	19.2	18.0	10.1	1.8	28.0
20代	100万円未満	(12)	33.3	33.3	33.3	8.3	8.3	0.0	16.7
	～300万円未満	(63)	22.2	17.5	11.1	23.8	12.7	0.0	39.7
	～500万円未満	(133)	21.8	17.3	20.3	14.3	3.8	0.0	44.4
	～1000万円未満	(157)	19.7	21.0	17.8	25.5	8.3	1.3	36.3
	1000万円以上	(63)	38.1	23.8	14.3	25.4	7.9	0.0	27.0
30代	100万円未満	(17)	5.9	41.2	17.6	11.8	5.9	0.0	35.3
	～300万円未満	(55)	25.5	21.8	7.3	21.8	5.5	0.0	38.2
	～500万円未満	(192)	22.4	17.2	13.0	22.9	5.2	0.0	39.1
	～1000万円未満	(377)	21.2	27.6	15.9	20.4	5.0	0.3	38.5
	1000万円以上	(94)	31.9	33.0	20.2	27.7	5.3	0.0	24.5
40代	100万円未満	(14)	35.7	28.6	0.0	14.3	7.1	7.1	21.4
	～300万円未満	(93)	17.2	18.3	22.6	16.1	7.5	1.1	36.6
	～500万円未満	(216)	19.0	15.3	13.0	17.6	6.0	0.0	41.7
	～1000万円未満	(514)	25.3	22.8	13.2	24.3	7.0	0.2	33.1
	1000万円以上	(195)	39.0	27.7	16.4	22.1	7.2	1.5	27.7

3. 投資信託の購入・保有に関する意識（8）

投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

(Q14)

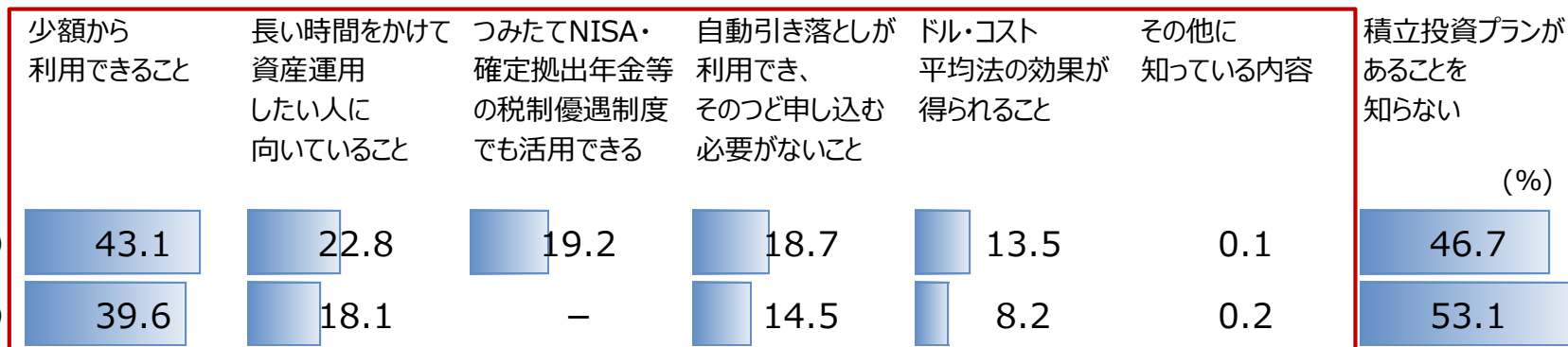
(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

		n=	預貯金・MRF などにまわした	すぐに 株式、債券を 購入した	生活資金として 引き出した	すぐに 他の投資信託を 購入した	まとまった支出に あてた ※生活資金に あてた場合を除く	その他	売却経験なし/ 償還でお金を 得たことはない (%)	
2019年 TOTAL		(6449)	26.5	19.5	19.2	18.0	10.1	1.8	28.0	
年代×世帯年収別	50代	100万円未満	(34)	20.6	14.7	29.4	11.8	5.9	2.9	29.4
		～300万円未満	(89)	20.2	11.2	28.1	16.9	9.0	2.2	31.5
		～500万円未満	(150)	25.3	11.3	24.0	13.3	7.3	0.0	34.0
		～1000万円未満	(430)	24.4	17.4	17.4	15.1	11.9	1.4	29.1
		1000万円以上	(259)	29.3	23.6	10.4	20.1	9.3	1.2	30.9
	60代	100万円未満	(45)	20.0	11.1	46.7	15.6	8.9	4.4	15.6
		～300万円未満	(254)	22.0	12.6	29.1	12.6	10.2	2.4	28.0
		～500万円未満	(362)	28.5	14.4	25.4	16.3	9.9	2.2	23.8
		～1000万円未満	(478)	29.5	21.8	18.4	17.4	13.2	2.1	19.7
		1000万円以上	(215)	29.3	27.4	12.1	22.3	13.0	1.4	27.0
	70代	100万円未満	(26)	23.1	7.7	38.5	3.8	7.7	7.7	15.4
		～300万円未満	(292)	25.3	14.7	25.7	15.1	13.0	5.5	17.5
		～500万円未満	(438)	28.8	19.6	24.2	17.1	16.2	4.1	17.8
		～1000万円未満	(351)	39.3	19.7	18.2	20.2	14.8	2.3	14.8
		1000万円以上	(78)	39.7	26.9	9.0	21.8	15.4	1.3	20.5

4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（1）

積立投資プランの認知状況

(Q20)



「積立投資プラン」の認知率2019年53.3%/2018年:46.9%(赤枠内のいずれかの特徴を知っている人)

※選択肢「つみたてNISA・確定拠出年金等の税制優遇制度でも活用できる」は2019年より聴取

年代別	人数	少額から利用できること	長い時間をかけて資産運用したい人に向いていること	つみたてNISA・確定拠出年金等の税制優遇制度でも活用できる	自動引き落としが利用でき、そのつど申し込む必要がないこと	ドル・コスト平均法の効果が得られること	その他に知っている内容	積立投資プランがあることを知らない
20代	(2610)	37.2	18.0	16.0	14.9	12.2	0.0	52.5
30代	(3187)	42.4	21.6	18.3	17.5	15.7	0.1	48.0
40代	(4030)	41.6	19.8	18.1	18.0	14.9	0.1	47.3
50代	(3361)	42.8	20.5	19.5	19.5	13.5	0.1	47.8
60代	(3721)	45.5	26.2	20.1	20.0	12.8	0.1	44.1
70代	(3091)	48.1	30.1	22.7	21.3	11.3	0.2	41.3

- 積立投資プランの認知率は53.3%と半数以上。

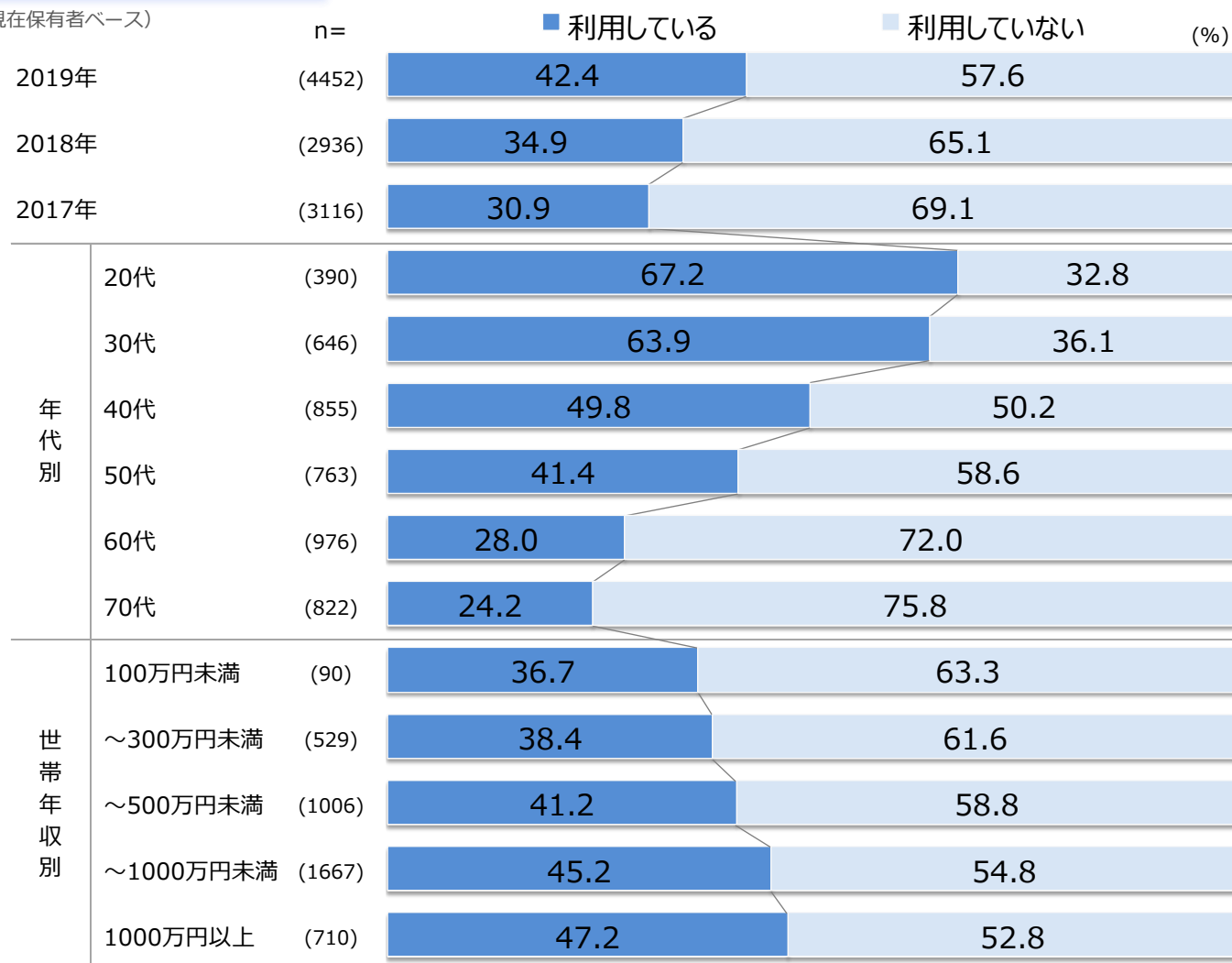
認知内容は「少額から利用できる」(43.1%)が特に高く、「長い時間をかけて資産運用したい人向き」「つみたてNISA・確定拠出年金等でも活用可能」「自動引き落としが利用可能」が20%前後で続く。

4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（2）

投資信託の積立投資の利用状況

(Q19)

(投資信託現在保有者ベース)



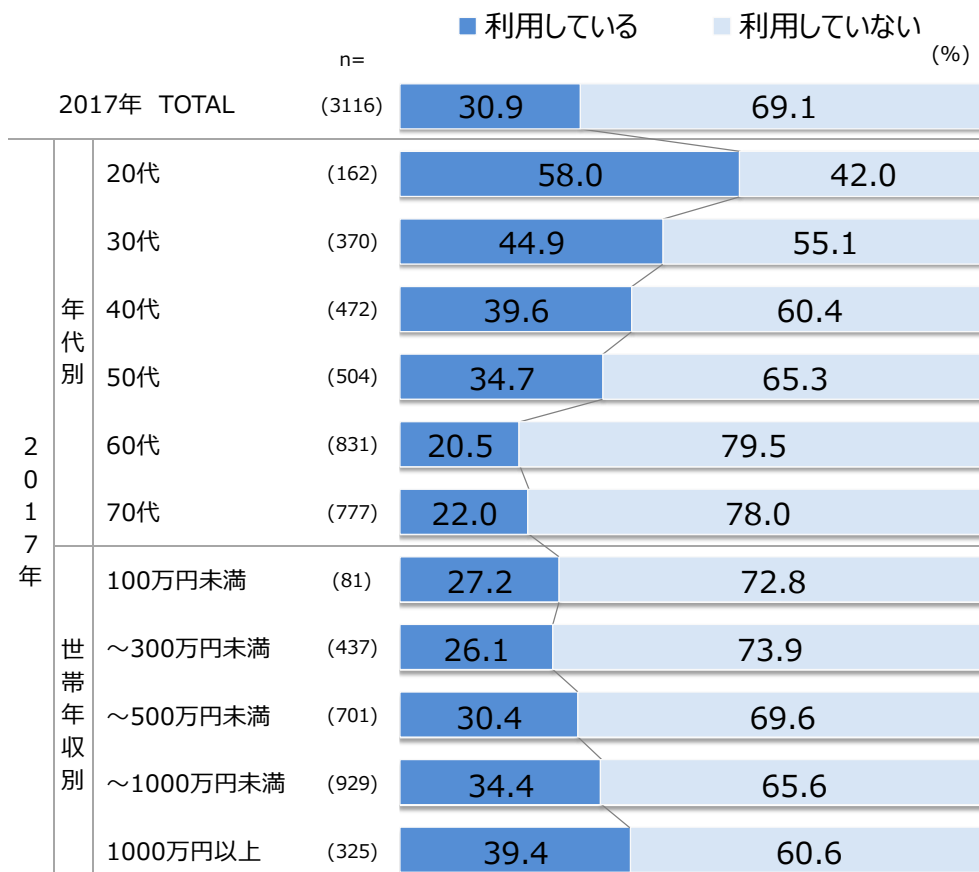
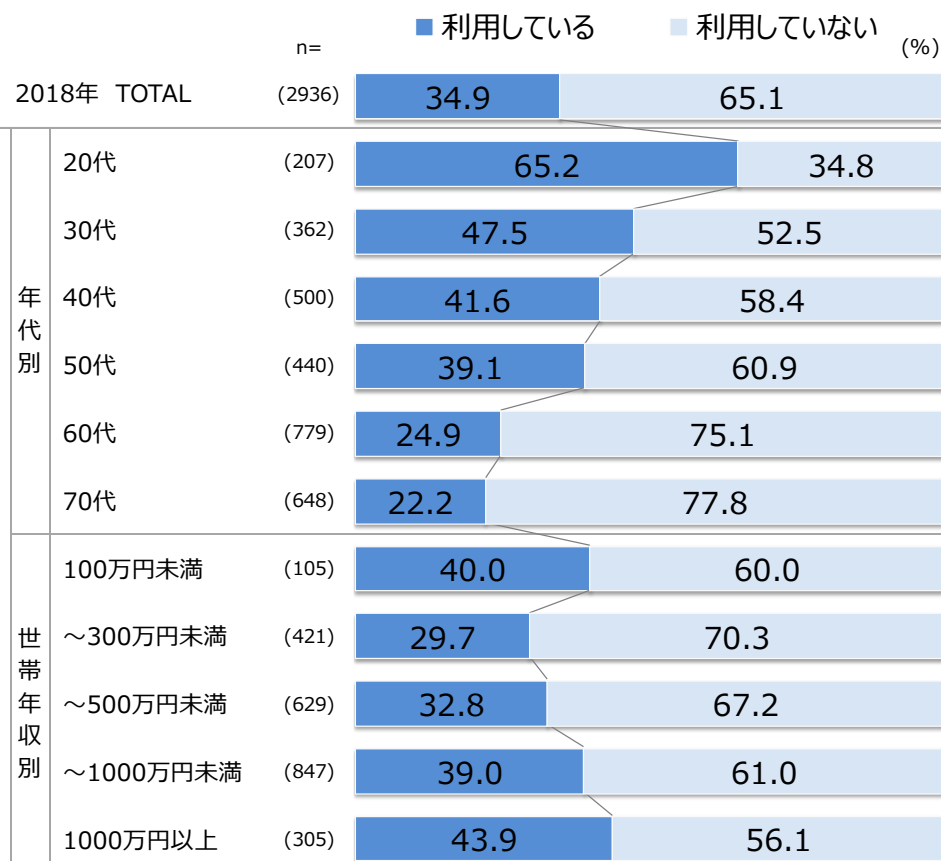
- 投資信託現在保有層の積立投資利用率は42.4%で、前回(34.9%)に比べて7.5ポイント増加。
- 年代別では若年層ほど利用率は高く、特に20・30代では60%以上と高い。

4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（3）

投資信託の積立投資の利用状況

(Q19)

【2018年、2017年の属性別】

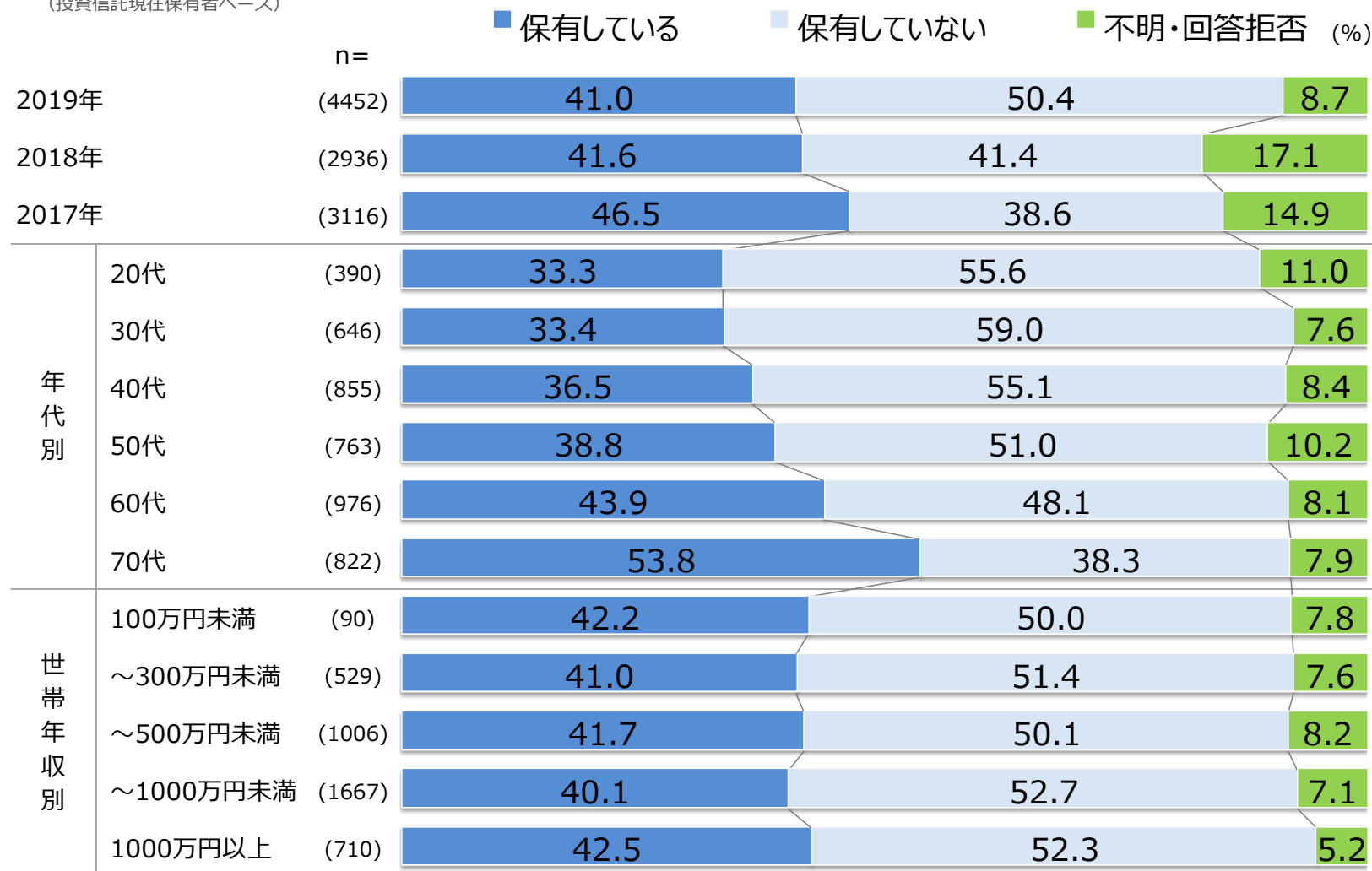


5. 毎月分配型投資信託についての意識（1）

毎月分配型投資信託の保有状況

(Q22)

(投資信託現在保有者ベース)



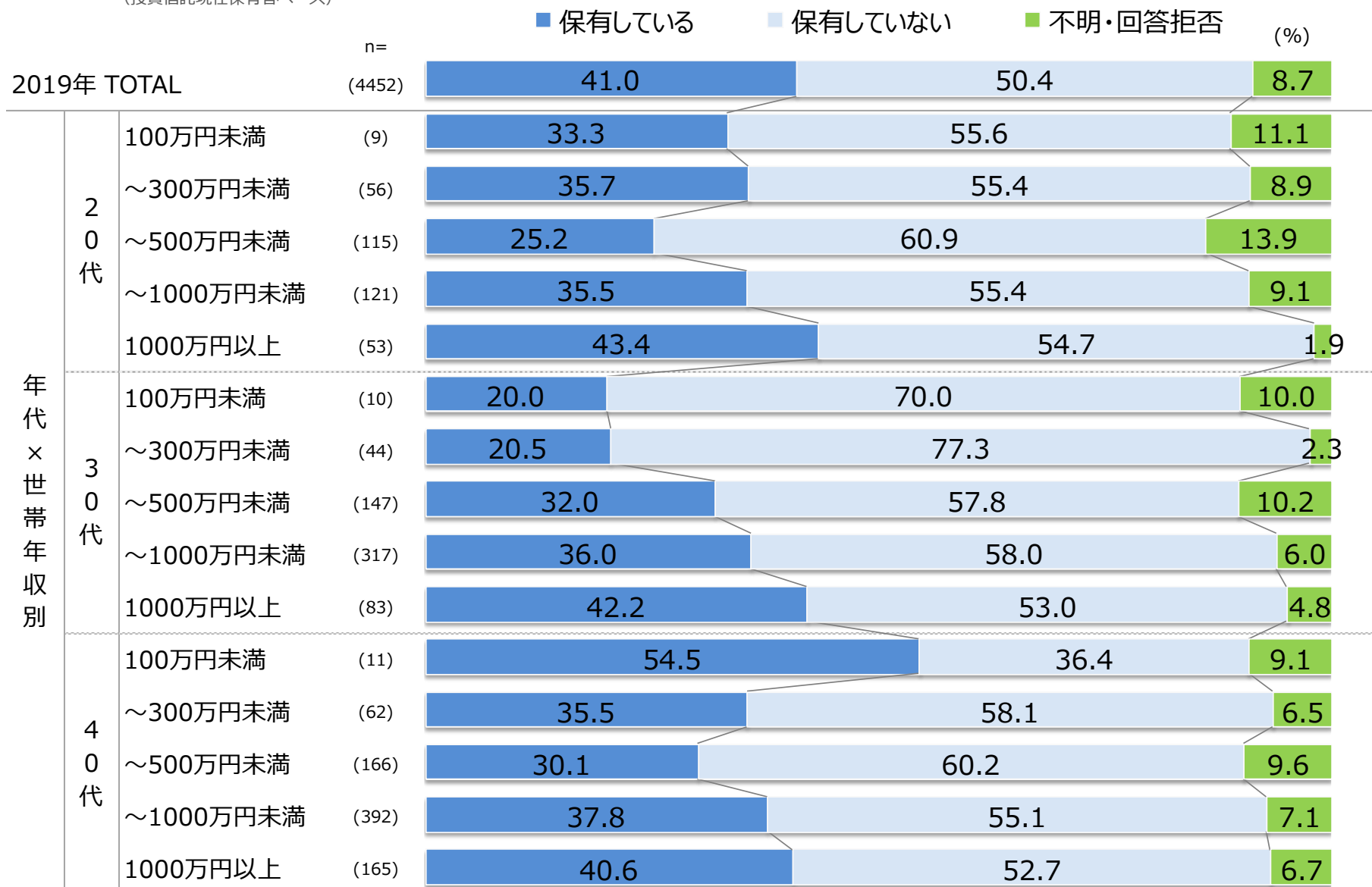
- 投資信託現在保有者における毎月分配型投資信託の保有率は41.0%と、前回(41.6%)と同程度。
- 年代別では、年代が高くなるにつれて保有率が増加する傾向。

5. 毎月分配型投資信託についての意識（2）

毎月分配型投資信託の保有状況

(Q22)

(投資信託現在保有者ベース)

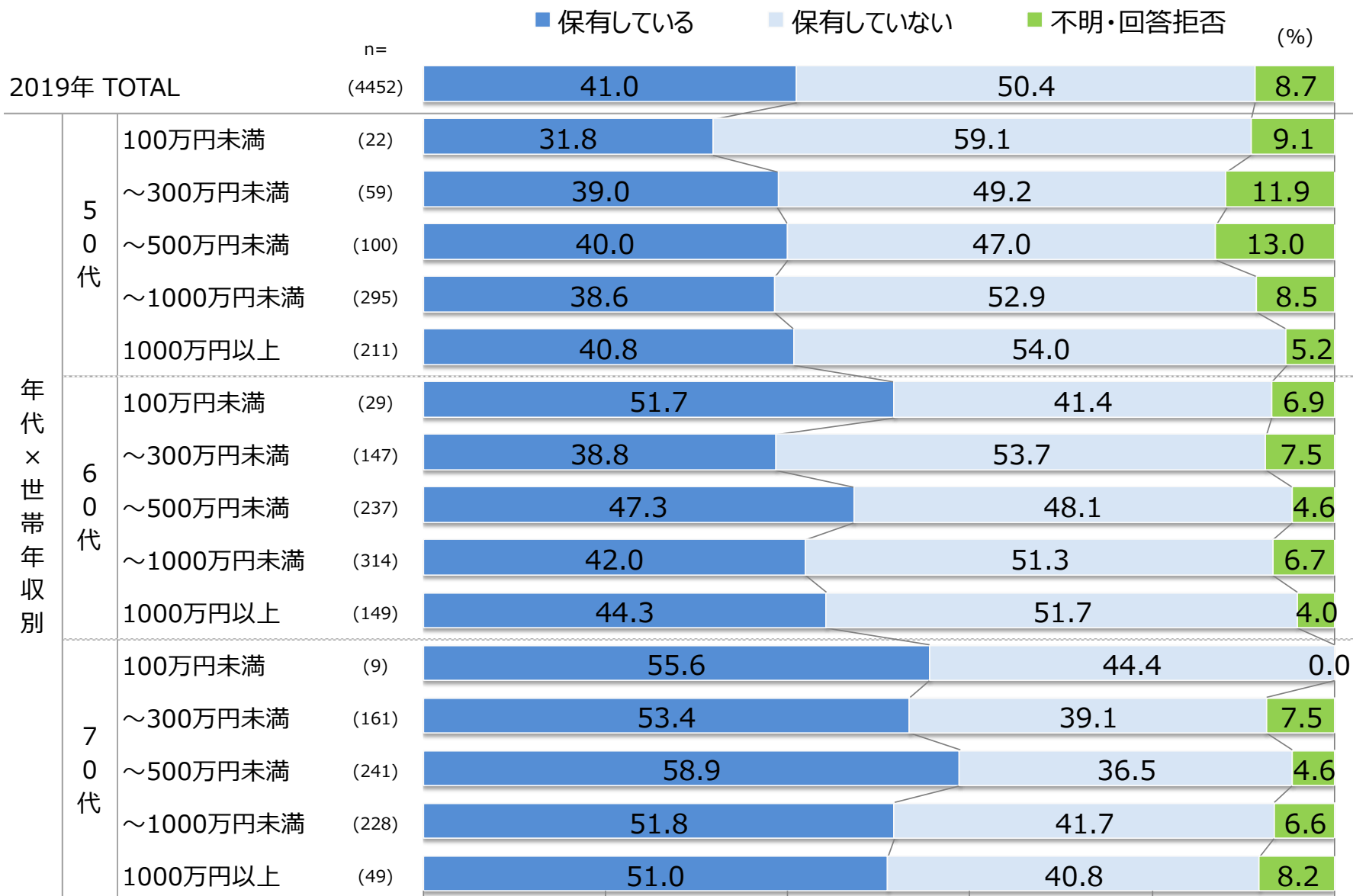


5. 毎月分配型投資信託についての意識（3）

毎月分配型投資信託の保有状況

(Q22)

(投資信託現在保有者ベース)

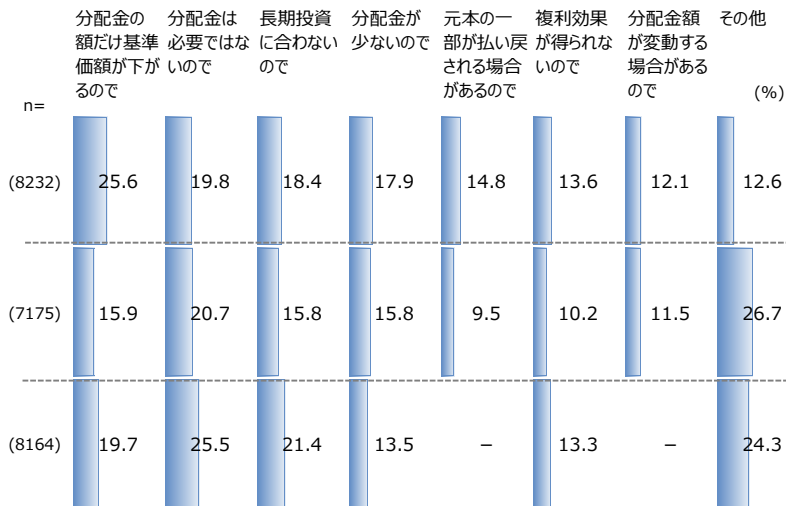


5. 毎月分配型投資信託についての意識（4）

毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由（重複回答）

（Q23・Q24・Q25）※選択肢「分配金額が変動する場合があるので」「元本の一部が払い戻される場合があるので」は2018年より聴取

【魅力を感じない理由】

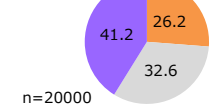


（全体ベース）

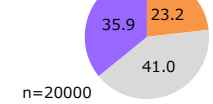
毎月分配型投資信託に…

■ 魅力を感じる ■ どちらともいえない ■ 魅力を感じない

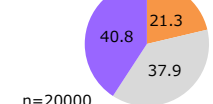
【2019年】



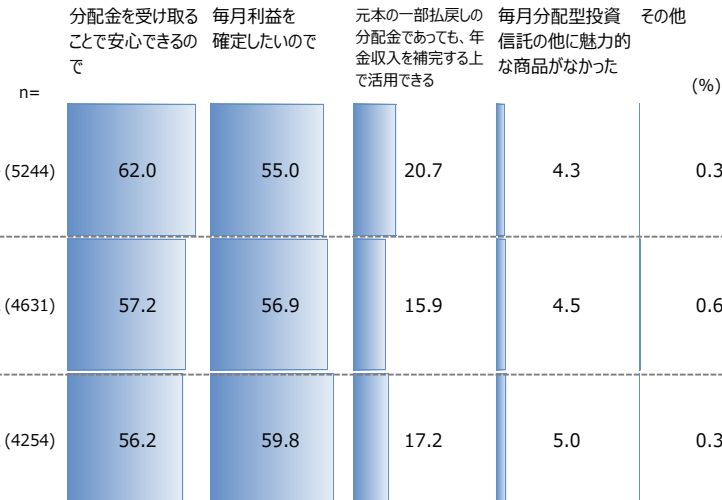
【2018年】



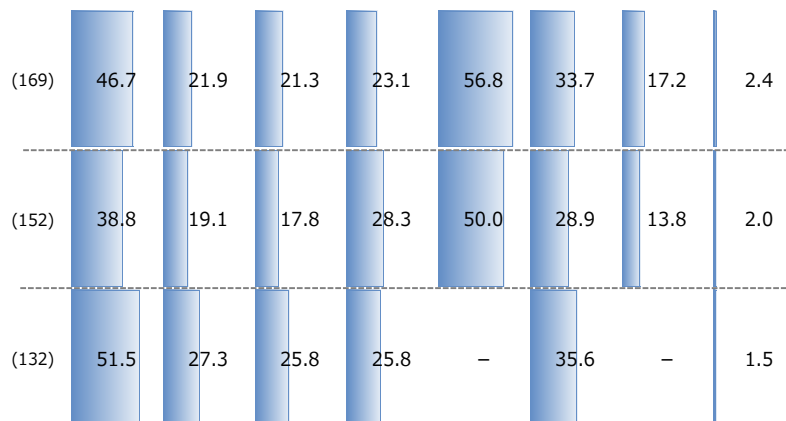
【2017年】



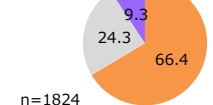
【魅力を感じる理由】



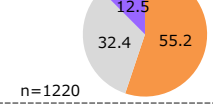
（毎月分配型投資信託現在保有者ベース）



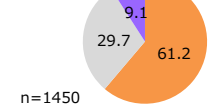
【2019年】



【2018年】



【2017年】



<全体>

- 毎月分配型投資信託に魅力を感じる人は26.2%で、魅力を感じない人(41.2%)の方が多。魅力を感じる人は前回より僅かに増加したが、魅力を感じない人も増加し2017年の水準に戻った。
- 非魅力理由は、「分配金の額だけ基準価額が下がる」(25.6%)が最も高く、前回より9.7ポイント増加。「元本の一部が払い戻される場合がある」は5.3ポイント増加。魅力理由は、「分配金を受け取ることで安心できる」(62.0%)、「毎月利益を確定したい」(55.0%)が前回同様に高いが、前者は前回より4.8ポイント増加。

<分配型投資信託現在保有者>

- 魅力を感じる人は66.4%と前回より11.2ポイント増加。非魅力理由では「元本の一部が払い戻される場合がある」が56.8%と突出。

5. 毎月分配型投資信託についての意識（5）

毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由（重複回答） 2019年

(Q23・Q24・Q25)

【魅力を感じない理由】

(全体ベース)

【魅力を感じる理由】

毎月分配型投資信託に…

分配金の額だけ基準額が下がるので
 分配金は必要ではないので
 長期投資に合わない
 分配金が少ないので
 元本の一部が払い戻される場合があるので
 複利効果が得られない
 分配金額が変動する
 その他

分配金を受け取ることで安心できる
 毎月利益を確定したい
 元本の一部払戻しの分配金であっても、年金収入を補完する上で活用できる
 毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった
 その他



- 非魅力理由は、若年層ほど「分配金の額だけ基準額が下がる」が高くなる。70代では「分配金は必要ない」がやや低い。
- 魅力理由は、60・70代で4人に1人が「元本の一部払戻し分配金であっても、年金収入の補完にできる」ことを魅力と感じている。

5. 毎月分配型投資信託についての意識（6）

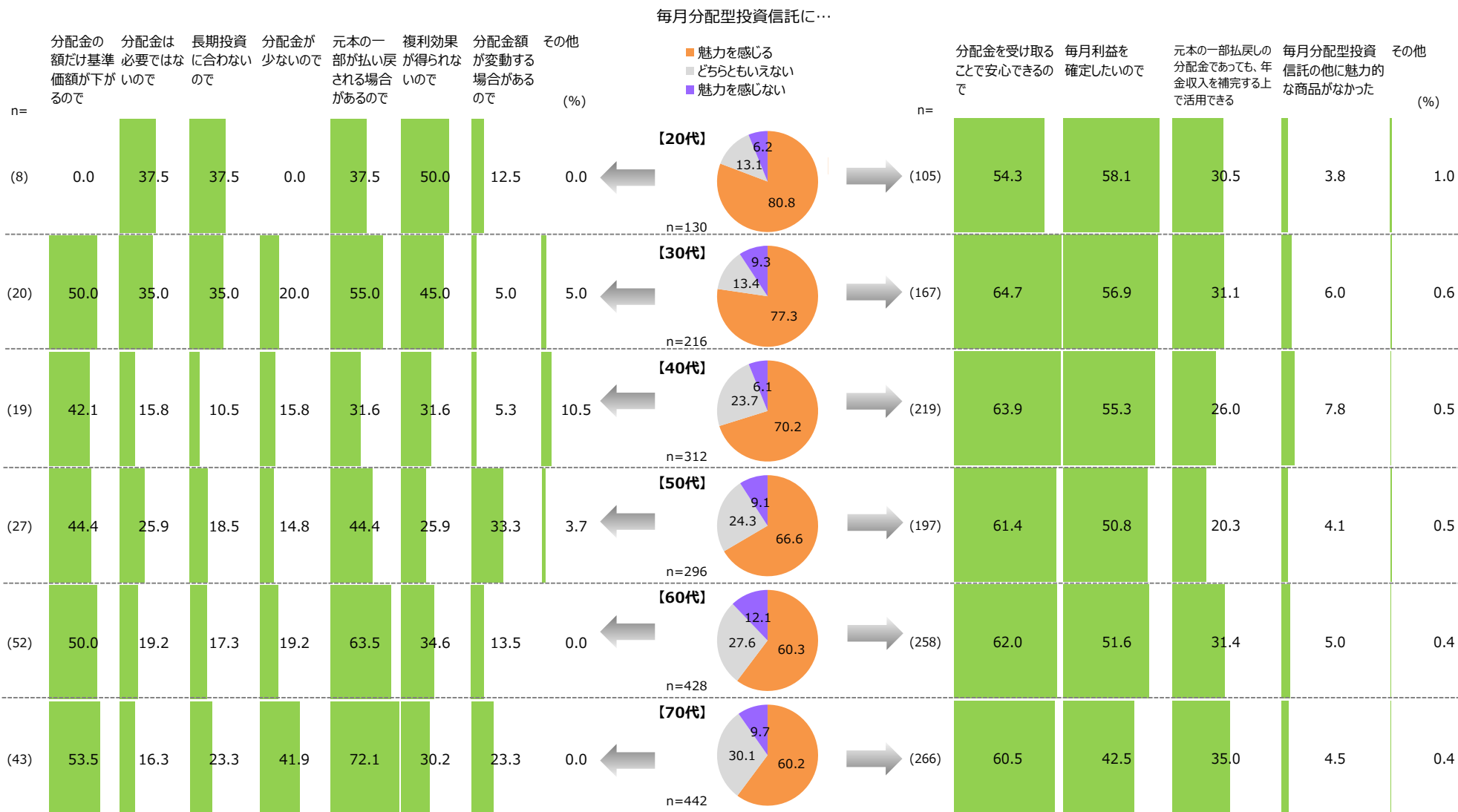
毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由（重複回答） 2019年

(Q23・Q24・Q25)

【魅力を感じない理由】

(毎月分配型投資信託現在保有者ベース)

【魅力を感じる理由】



- 毎月分配型投資信託保有者では、どの年代でも60～80%程度が当該商品に対して魅力を感じている。
- 魅力理由では、30～70代では「分配金を受け取ることで安心できる」が60%以上と高い。一方、「毎月利益を確定したい」は若年層ほど高い傾向。

6.投資信託の非購入理由

投資信託の非購入理由（重複回答）

(Q28) ※選択肢「投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい」は2018年より聴取

(投資信託保有未経験者ベース)

	n=	そ も そ が も な い	投 資 の 知 識 が な い	損 を し そ う で 怖 い	元 本 保 証 が な い	ま ま が つ た い	資 金 の よ く	投 資 組 み の よ く	仕 組 み が な い	わ か ら な い	手 数 料 が 高 い	な ん と な か っ た	機 会 が な か っ た	商 品 の 種 類 が な い	多 く の 種 類 が な い	選 択 の 自 ら な い	投 資 信 託 の 存 在 を	知 ら な い	購 入 す る か ら な い	手 間 の か ら な い	自 分 で 株 を 買 う よ り も	運 用 し た 方 が い い	そ の 他 (%)
2019年	(13551)	41.7	36.8	29.1	22.9	22.7	20.2	12.9	7.4	6.7	4.9	4.2	4.0	0.7									
2018年	(15412)	48.4	38.0	29.9	20.2	24.3	22.8	10.2	11.8	8.1	5.3	5.1	2.6	0.9									
2017年	(15287)	46.4	38.3	22.5	19.4	19.5	24.4	10.6	8.0	5.7	5.0	3.5	-	1.2									
年代別	20代 (2134)	41.5	39.8	26.8	11.1	22.7	21.9	9.1	9.7	5.0	7.2	5.2	2.4	0.5									
	30代 (2396)	38.8	40.3	32.1	16.2	24.2	23.6	11.3	9.8	7.5	6.1	5.6	3.1	0.4									
	40代 (2907)	37.3	37.7	30.0	24.1	23.8	20.8	14.0	7.9	7.1	5.6	5.1	4.0	0.7									
	50代 (2286)	44.4	34.7	28.5	25.4	22.0	17.9	13.7	6.4	5.6	3.9	3.4	3.2	0.9									
	60代 (2187)	44.3	33.8	30.4	31.5	21.8	18.2	15.4	4.1	7.4	3.4	2.6	4.9	0.8									
	70代 (1641)	46.6	32.8	25.1	31.1	20.8	18.3	13.7	5.7	8.0	2.3	2.3	7.0	1.2									

- 投資信託の非購入理由は、前回同様、「興味がない」(41.7%)、「投資の知識がない」(36.8%)、「損をしそうで怖い」(29.1%)が上位。
- 年代別では、30・40代で「興味がない」が低い。若年層ほど「投資の知識がない」「なんとなく機会がなかった」が高く、「元本保証がない」は低くなる傾向。

7.投資信託購入検討のきっかけ

購入検討のきっかけ（重複回答）

(Q29) ※選択肢「職場で確定拠出年金・つみたてNISA等が整備されたら」は2019年より聴取

(投資信託保有未経験者ベース)

	n=	金融強解 やして 投てき 資た をら	手増 取え りた 収ら 入 が	身勸 近め なら 入れ にた ら	貯達 蓄し がた 一ら 定 額 に	低投充 り資実 ス信し ク託て の商 品た がら	初なえ 心どる 者、機 向説会 け明が せしあ ミてれ ナもば いら	職・等 場つが でみ整 確た備 定てさ 拠Nれ 出Iた 年Sら 金A	手投充 数資実 料信し の託て 低商 品た がら	経値で 済上 がが 上り様 向がに き期な に待っ たり	金専教 融門え 機知て 関識も なをら ど持え でつた 人ら に	税優拡 制遇充 上措し の置て がき 、た よら り	退相臨 職続時 金な収 ・ど入 でが のあ った ら	その 他	(%)
2019年	(13551)	20.1	19.7	17.4	17.0	15.8	13.3	12.4	11.8	11.7	10.9	8.9	5.1	9.4	
2018年	(15412)	23.1	21.8	20.1	16.1	15.7	14.0	-	10.4	13.8	15.7	16.4	6.7	11.3	
2017年	(15287)	21.3	21.4	20.4	16.0	14.4	13.6	-	10.0	13.9	13.7	16.3	6.7	11.2	
年代別	20代 (2134)	23.4	24.8	26.1	21.0	14.2	17.3	17.8	9.5	10.4	13.4	7.3	2.9	4.7	
	30代 (2396)	24.2	25.1	22.5	21.0	16.0	16.4	16.4	11.5	10.2	14.1	9.2	4.1	4.5	
	40代 (2907)	21.9	23.0	18.1	18.3	15.3	13.7	14.4	11.7	11.0	11.7	8.5	5.4	5.7	
	50代 (2286)	17.7	18.1	12.9	14.9	15.4	11.2	12.0	12.5	11.1	9.7	10.2	6.6	10.1	
	60代 (2187)	15.8	13.0	11.9	12.1	17.6	10.0	6.6	12.4	13.6	7.8	7.9	5.7	16.4	
	70代 (1641)	15.4	10.1	11.3	12.7	16.8	10.1	4.5	13.3	15.4	7.6	11.1	6.0	19.2	

- 投資信託購入検討のきっかけは、前回同様に全体的に分散傾向で、目立って高い項目はみられない。
- 年代別では、若年層ほど「金融や投資方法を勉強して理解したら」「手取り収入が増えたら」「身近な人に勧められたら」「貯蓄が一定額に達したら」「初心者セミナーなどがあれば」「職場で確定拠出年金・つみたてNISA等が整備されたら」「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」が高くなる傾向。

8. 投資信託の興味・関心・購入のきっかけ

投資信託の興味・関心・購入のきっかけ（重複回答）

(Q8)

(投資信託保有経験者ベース)

		n=	金融機関の人に勧められて	インターネットで見たり調べたりして	投資信託に関する本を読んで	商品広告などを見て	家族や友人などから	経済的に余裕が	新聞、雑誌の記事を	見たり読んだりして	少額投資非課税制度が	始めたので	DMMを見たり聞いて	状況や市場の	講演やセミナー	確定拠出年金で	投資信託に興味を持った	老後2000万円に	受けて各種報道を	SNSからの情報を	確定拠出年金で	良かったので	その他	
2019年		(6449)	42.6	23.0	11.3	11.2	10.5	10.2	9.9	9.6	9.1	8.2	6.5	5.3	2.7	2.4	2.2	2.9						
性別	男性	(3771)	35.6	29.1	13.9	13.6	7.1	11.1	11.8	9.8	10.7	10.2	6.9	7.4	2.8	3.0	2.9	3.2						
	女性	(2678)	52.5	14.5	7.7	7.8	15.2	9.0	7.3	9.3	7.0	5.5	6.0	2.3	2.7	1.6	1.0	2.4						
年代別	20代	(476)	23.3	35.3	19.5	12.8	10.1	12.8	8.8	16.4	14.9	9.5	10.1	10.7	6.7	8.4	6.1	1.9						
	30代	(791)	23.1	39.6	20.0	12.4	12.6	9.9	9.2	16.6	11.5	8.2	10.1	8.3	5.1	7.0	3.4	1.4						
	40代	(1123)	25.8	33.5	16.5	10.7	10.9	10.5	12.1	10.2	8.4	9.3	5.6	8.6	3.3	3.1	3.6	2.2						
	50代	(1075)	39.3	23.7	10.9	10.9	9.6	9.4	10.1	8.4	8.2	8.6	5.2	7.6	2.7	1.3	1.7	3.1						
	60代	(1534)	54.0	16.2	7.4	11.9	9.1	10.2	10.0	6.4	8.3	8.3	5.1	2.2	1.5	0.7	1.3	3.1						
	70代	(1450)	62.8	8.6	4.5	9.9	11.2	10.1	8.8	7.3	8.1	6.7	6.7	0.8	1.0	0.3	0.3	4.0						
世帯年収別	100万円未満	(148)	43.9	18.9	12.2	12.2	7.4	4.1	8.1	6.1	9.5	8.1	4.1	2.0	4.1	2.0	0.7	3.4						
	~300万円未満	(846)	47.6	19.4	10.4	10.2	8.9	8.6	8.6	8.4	7.6	6.0	5.3	2.0	3.2	1.3	1.2	3.1						
	~500万円未満	(1491)	43.7	22.1	11.2	11.9	10.4	10.3	10.1	10.5	7.6	7.4	5.0	3.3	2.0	2.5	1.4	3.4						
	~1000万円未満	(2307)	41.0	25.2	11.4	11.1	10.9	10.5	9.9	10.1	10.4	8.1	7.7	7.2	2.9	2.6	2.6	2.0						
	1000万円以上	(904)	37.6	28.3	14.7	14.8	10.1	13.9	13.4	10.7	13.6	12.5	9.5	10.1	3.3	4.0	4.3	2.0						
保有状況別	保有層・保有経験層	(4452)	40.7	26.7	13.3	10.9	10.2	10.6	10.0	12.2	9.7	8.5	7.6	6.8	3.3	2.9	2.7	2.5						
	保有経験層(現在非保有)	(1997)	46.8	14.9	6.9	11.9	11.0	9.5	9.8	3.9	8.0	7.7	4.3	1.9	1.6	1.4	1.1	3.6						
投資信託種類別	株式投資信託保有層	(3147)	38.9	30.7	16.0	12.0	10.7	11.3	11.4	13.8	11.0	9.8	8.5	8.4	3.3	3.8	3.0	2.0						
	その他投資信託保有層	(904)	46.7	19.6	8.6	10.1	8.3	9.2	8.2	9.4	7.7	5.4	6.1	3.1	2.2	1.0	2.0	2.0						

- 投資信託の興味・関心・購入のきっかけは、「金融機関の人に勧められて」(42.6%)が特に高く、「インターネットで見たり調べたりして」(23.0%)が続く。
- 年代別でみると、「金融機関の人に勧められて」は50代以上で年代が上がるほど高くなる。「インターネットで見たり調べたりして」「投資信託に関する本を読んで」は40代以下、「少額投資非課税制度が始まったので」「SNSからの情報通じて」は20・30代で高い傾向。
- 投資信託現在保有層は、保有経験層に比べて「インターネットで見たり調べたりして」「投資信託に関する本を読んで」「少額投資非課税制度が始まったので」などが高い。

9. 投資信託購入時参考情報

投資信託購入時参考情報（重複回答）

(Q11)

(投資信託保有経験者ベース)

		n=	販売用資料	目論見書・運用報告書	投資信託を販売している会社のHP	金融機関の担当者の話	情報サイトにサングする	投資信託のHP	新聞	インターネット	情報サイトのネット	投資信託の	投資運用の本	親友や知人	雑誌	セミナーなど	テレビ番組	SNSからの情報	その他	特にな
2019年		(6449)	30.7	28.7	28.0	24.5	15.5	15.5	12.8	11.6	11.1	9.2	8.2	5.4	5.3	4.9	4.2	0.4	15.1	
性別	男性	(3771)	31.3	33.0	31.0	16.5	18.2	17.9	14.0	13.0	13.4	10.1	4.7	6.4	5.1	4.7	4.7	0.4	15.3	
	女性	(2678)	29.8	22.5	23.7	35.9	11.8	12.2	11.2	9.6	8.0	8.0	13.0	3.8	5.5	5.3	3.5	0.4	14.8	
年代別	20代	(476)	29.0	33.0	30.9	6.7	19.5	20.4	9.2	20.8	12.4	16.6	8.4	5.0	3.8	6.1	15.8	0.4	11.1	
	30代	(791)	28.8	30.7	33.6	10.0	22.1	21.2	10.4	18.3	13.8	15.2	8.3	7.0	5.2	4.3	10.0	0.1	11.0	
	40代	(1123)	29.8	30.2	31.9	13.8	21.1	17.6	10.5	15.0	14.6	12.0	9.5	8.4	4.7	4.9	4.8	0.2	12.6	
	50代	(1075)	32.1	28.4	28.6	21.9	14.0	14.7	12.1	11.2	11.3	8.4	8.1	5.2	4.3	4.1	2.8	0.4	16.2	
	60代	(1534)	32.7	29.0	27.1	32.0	13.0	13.7	14.7	7.7	9.6	6.3	7.0	4.5	5.4	5.5	1.1	0.4	17.2	
	70代	(1450)	29.7	24.8	21.6	40.8	10.0	11.7	15.7	6.6	8.0	5.0	8.2	3.3	6.8	4.9	1.0	0.7	17.4	
世帯年収別	100万円未満	(148)	27.0	20.9	25.7	17.6	14.2	14.9	5.4	13.5	6.1	6.1	3.4	4.1	4.1	5.4	0.7	1.4	18.9	
	~300万円未満	(846)	27.4	24.9	24.8	28.5	12.4	11.8	9.8	12.1	8.0	7.3	5.3	3.1	5.3	4.8	3.8	0.6	16.3	
	~500万円未満	(1491)	28.4	26.5	26.3	26.4	15.2	13.1	13.6	10.5	8.9	9.1	7.0	4.4	4.3	4.8	4.8	0.1	16.0	
	~1000万円未満	(2307)	33.3	30.6	30.9	23.0	16.7	17.6	12.6	11.9	12.5	9.8	9.8	5.9	5.3	5.1	4.2	0.4	12.0	
	1000万円以上	(904)	35.6	36.6	33.1	20.5	19.9	22.1	16.9	14.4	16.7	12.9	9.3	9.0	8.3	5.8	5.4	0.6	12.5	
保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層 (4452)	32.2	31.6	29.7	24.9	16.7	16.4	12.0	12.9	12.2	10.6	7.3	5.6	6.2	4.6	4.9	0.4	12.4	
	保有経験層 (現在非保有)	(1997)	27.3	22.2	24.2	23.7	12.9	13.6	14.7	8.7	8.7	6.0	10.2	4.8	3.1	5.8	2.6	0.3	21.0	
現在保有種類別	株式投資信託保有層	(3147)	34.7	35.4	33.3	22.7	19.7	19.0	13.6	14.0	14.6	12.1	7.3	6.5	7.2	5.4	6.0	0.4	9.3	
	その他投資信託保有層	(904)	31.2	27.2	26.2	32.5	12.2	12.5	9.0	12.1	8.3	8.6	7.6	4.3	4.9	2.7	1.8	0.3	11.9	

- 購入時の参考情報は、「販売用資料」(30.7%)、「目論見書・運用報告書」(28.7%)、「投資信託を販売している会社のHP」(28.0%)が30%前後で上位。
- 年代別では、多くの参考情報で若年層の方が高いが、インターネット経由の情報は特にその傾向が強い。一方、「金融機関の担当者の話」は高齢層ほど高い。
- 投資信託現在保有種類別では、株式投資信託保有層で「金融機関の担当者の話」が低く、「目論見書・運用報告書」「投資信託を販売している会社のHP」「情報サイト」「投資信託の評価機関」が高い。